

平成30年度業務の実績に関する評価結果の令和元年度業務への反映状況（公立大学法人秋田県立大学）

平成30年度評価における指摘事項	評価項目	令和元年度の業務運営等への反映状況
<p>概ね年度計画どおり実施していると認められるが、県内出身入学生比率に係る目標が未達成となっており、達成に向けた取組が求められる。また、推薦入試制度の見直しによる県内出身入学生の確保が期待される。</p>	<p>I-1-1 (1)</p>	<p>○令和3年度からの県内出身者を対象とする新入試制度の詳細情報を本学ウェブサイトに掲載するとともに、情報を一冊のパンフレットにまとめた新入試ガイドを新たに作成し、周知を図った。また、進学推進員による県内全高校への訪問に加え、学長・副学長による高校訪問の拡充を図り、合計17校を訪問した。</p> <p>○県内高校教員との交流会には、46校から56名の教員の参加があり、入試について意見交換を行った。また、保護者を対象とした個別予約型面談において、参加した23名の保護者に対し本学の魅力を発信した。</p> <p><b>【県内出身入学生比率】</b>          令和元年度 目標 35%→実績 32.9%          平成30年度 目標 35%→実績 29.5%</p>
<p>大学院学生の確保については、積極的な広報活動や奨学金の給付などの取組が行われているが、収容定員充足の目標が未達成となっており、大学院進学者の増加に向けた更なる努力が期待される。</p>	<p>I-1-1 (2)</p>	<p>○学部学生の大学院進学を促すため、学部学生に対する進路ガイダンスの中で大学院についての説明会を開催したほか、高校生向けの進学説明会などでも本学大学院の魅力を発信した。</p> <p>○大学院進学促進用のパンフレット「VISION(大学院)」及び「大学院進学の勧め」を活用しながら大学院での研究テーマや長期履修学生制度などのPRに努め、令和元年度は博士後期課程の特別早期修了制度により社会人学生3名の受入れに至った。</p> <p>○大学院優秀学生奨学金制度では、令和元年度入学者28名（年間授業料相当額給付対象者11名、年間授業料相当額の半額給付対象者17名）を新たに認定し、前年度認定者（博士前期課程2年生）28名（年間授業料相当額給付対象者11名、年間授業料相当額の半額給付対象者17名）と合わせた計56名に対して計2,090万円を給付し、経済面での支援を行った。</p> <p><b>【大学院収容定員充足率】</b>          令和元年度 目標 100%→実績 87.7%          平成30年度 目標 100%→実績 91.3%</p>
<p>ジョブシャドウイングの実施など、県内企業等への就職者の割合増加に向けた積極的な取組が実施されたものの、県内企業等への就職者の割合に係る目標が未達成となっており、今後は、目標達成に向けた更なる取組が期待される。</p>	<p>III-2-1 (1)</p>	<p>○「あきた地域学（H29～）」、「ジョブシャドウイング（H28～）」を実施したほか、県内の企業や自治体で活躍する卒業生と在學生との懇談会や、企業見学会の開催など、県内就職希望者の増加を促す取組を行った。</p> <p>○県内就職希望者に対しては、県内就職希望者を対象とするガイダンスに加え、県内企業を中心とした合同企業説明会を実施し、企業と学生の接点をつくった。また、県内企業に対しては、企業訪問（123社）や情報交換会の機会を捉え、早期の求人票提出を働きかけた。</p> <p>○ジョブシャドウイングについては、企業等を訪問し、受入れを要請した結果、21社（新規6社、継続15社）での実施が実現し、1・2年生を中心に、延べ110名（システム科学技術学部69名、生物資源科学部41名）の学生が参加した。また、ジョブシャドウイングに参加した学生に対しては、県内企業を対象に大学が仲介して実施するインターンシップへの参加を呼びかけ、19名が参加した。（国の補助事業が終了する令和2年度以降についても、各キャンパスにコーディネーターを1名ずつ配置し、ジョブシャドウイング事業を継続することとした。）</p> <p><b>【就職決定者に占める県内企業・事業所への就職者の割合】</b>          令和元年度 目標 24%→実績 24.1%          平成30年度 目標 22%→実績 20.4%</p>